

モニター通信 Vol.3

～約2割の方が生ごみを自家処理して減量に～

*「モニター」とは、「環境保全・ごみ減量推進モニター」といい、ごみ減量等に関する研究・活動をするために市民の皆様から募集した方々のことです。

いちのみや530作戦実施中 (2003年11月4日 発行)

「生ごみ処理」について150人にお尋ねしました。

生ごみ簡易たい肥化容器

生ごみ発酵用密閉容器

電動生ごみ処理機

もやせるごみとして出す



16

8

7

119

市の生ごみ処理容器購入補助制度を利用して、次の世代に大きな負の遺産を残さないようにしましょう。詳しくは「ごみカレンダー」か、ホームページで確認してください。

< 回 覧 >

* 裏面もお読みください。

「藤里ファーム」を紹介します

～生ごみをたい肥化して無農薬・有機肥料による野菜づくりをしています。～



一宮市浅井町東尾関
稲波絹子さん
大野幸江さん

スーパーで販売コーナーを設けることができました。



公園の落葉などもたい肥として畑に還元しています。

家族の健康を願って始めた野菜づくりも10年。ボカシの中の発酵菌によって土の中の微生物が増え、土がとても元気でフカフカです。ネギ・長いも・里いも・さつまいもキャベツ・ブロッコリー・白菜・大根・ごぼう・スイートコーンと元気に育っています。

(生ごみグループ)

引き続き、ご家庭などのごみ減量の取り組み、身近な情報を募集しています。皆様からのご応募をお待ちしています。

FAX: 45-0923

郵送: 〒491-0201 一宮市奥町字六丁山52番地

メール: seiso@city.ichinomiya.aichi.jp

問い合わせ: 清掃対策課 ごみ減量対策係 TEL 45-7004